

[朝鮮語]

基礎朝鮮語

授業科目概説

朝鮮語の未修者を対象として、朝鮮語の基礎を修得します。現代朝鮮語とはソウルを中心とする朝鮮半島中央部において慣用されている言語体系を指すもので、これの正書法については韓国政府がその基準を定めています。基礎朝鮮語では、まず音韻体系と表記方法を理解し、基礎的な聴取及び表現能力を修得します。そして漢字使用・統辞等の面で近似する日本語と比べつつ、学生自らが単語や文節の成り立ち、さらには基本的な文の構造を考慮し、朝鮮語の基礎的運用能力を身につけます。

履修方法

第1セメスターに「基礎朝鮮語Ⅰ」、第2セメスターに「基礎朝鮮語Ⅱ」を履修します。週2回の授業で2単位が認定されます。年間を通じて連続した内容です。

原則として、入学時の「初修語履修希望書」にもとづいて配属されたクラスで履修します。他クラスでの履修や、クラスの異なる組み合わせの履修はできません。また、「基礎朝鮮語Ⅰ」と「基礎朝鮮語Ⅱ」の間でのクラス変更は認めません。「基礎朝鮮語Ⅰ」の単位を修得した者だけが「基礎朝鮮語Ⅱ」を履修できます。

展開朝鮮語

授業科目概説

「展開朝鮮語Ⅰ・Ⅱ」では、基礎朝鮮語の既修者を対象として、さらに多様な表現方法及び豊富な語彙量を身につけ、また音声に慣れることにより、発展的な運用能力の向上を目指します。とくに読解力の修得を図り、論説文や小説を読み進める一方、視聴覚教材等を活用しながら聴取能力及び会話能力の修得をはかります。

「展開朝鮮語Ⅲ・Ⅳ」では、主に「展開朝鮮語Ⅰ・Ⅱ」の既習者(あるいは同等の知識を有する者)を対象とし、より高度な表現の修得による朝鮮語コミュニケーション能力の向上をはかります。

履修方法

第3セメスターに「展開朝鮮語Ⅰ」、第4セメスターに「展開朝鮮語Ⅱ」を、第5セメスターに「展開朝鮮語Ⅲ」、第6セメスターに「展開朝鮮語Ⅳ」を履修します。

週1回の授業で2単位が認定されます。

「展開朝鮮語Ⅰ・Ⅱ」については原則として文系は指定されたクラスで、理系は全学対象のクラスでのみ履修を認め、他クラスでの履修は認めません。

「基礎朝鮮語Ⅱ」の単位を修得した者だけが「展開朝鮮語Ⅰ」を履修できます。

「展開朝鮮語Ⅰ」の単位を修得した者だけが「展開朝鮮語Ⅱ」を履修できます。

「展開朝鮮語Ⅰ～Ⅳ」は、複数履修制度の対象です。すでに修得した科目を再び履修することができます。

*注意

履修カードの提出(「基礎朝鮮語」及び「展開朝鮮語」に共通)

履修カードは授業担当教員から指示があった場合に、教室で本人が直接担当教員に提出してください。履修カードは教室でのみ受け付けます。また、2クラス以上に重複して提出することは認めません。

初修語の履修について

授業クラスの人数の関係で希望の語種やクラスが履修できない場合があります。担当教員の指示に従って履修クラスを決定してください。

なお、朝鮮語(韓国語)を母語とする者や朝鮮語(韓国語)圏等での生活経験から母語に準ずる能力を有する者については、朝鮮語の新規履修を認めません。高等学校等での朝鮮語(韓国語)既修者については、指定された「基礎朝鮮語Ⅰ」クラスの第1回目授業に出席し、そこで担当教員に申し出た上で指示に従ってください。

特別な配慮が必要な場合

視覚・聴覚などの問題で特別な配慮が必要な場合は担当教員に相談してください。

成績評価方法

朝鮮語教科の成績は、「全学教育科目の成績評価等の取り扱いについて」のとおり、「成績が特に優秀であるもの」を「AA」、「成績が優秀であるもの」を「A」、「成績が良好であるもの」を「B」、「成績が可であるもの」を「C」、「成績が不可であるもの又は履修を放棄したもの」を「D」とします。

GP(AA=4、A=3、B=2、C=1、D=0)のクラス平均が 2.5 ± 0.3 となることを目安にして評価します。

再履修について

平成29年度から令和3年度までの入学者が再履修する場合は、「基礎朝鮮語Ⅰ-1」及び「基礎朝鮮語Ⅰ-2」として「基礎朝鮮語Ⅰ」、「基礎朝鮮語Ⅱ-1」及び「基礎朝鮮語Ⅱ-2」として「基礎朝鮮語Ⅱ」、「展開朝鮮語Ⅰ-1」及び「展開朝鮮語Ⅰ-2」として「展開朝鮮語Ⅰ」、「展開朝鮮語Ⅱ-1」及び「展開朝鮮語Ⅱ-2」として「展開朝鮮語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うことになります。

平成28年度以前入学者が再履修する場合は、(旧)「基礎朝鮮語Ⅰ」として同名の「基礎朝鮮語Ⅰ」、(旧)「基礎朝鮮語Ⅱ」として同名の「基礎朝鮮語Ⅱ」、(旧)「展開朝鮮語Ⅰ」として同名の「展開朝鮮語Ⅰ」、(旧)「展開朝鮮語Ⅱ」として同名の「展開朝鮮語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うことになります。

再履修の場合は、「初修語履修希望書」にもとづく配属クラス指定はありません。